

# 運用報告書（全体版）

## ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2011年9月30日から2021年8月10日まで	
運用方針	①主として日本を除くアジア（オセアニアを含む）のハイ・イールド債券（米ドル建て等）を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。 ②対円で為替ヘッジを行います。	
主要投資対象	りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド 日本円コース	投資信託証券
	日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）	アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等
	ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）	
	マネーパールマザーファンド	わが国の公社債等
主な組入制限	りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド 日本円コース	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。デリバティブの直接利用は行いません。株式への直接投資は行いません。
	日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）	有価証券の空売りは行いません。純資産総額の10%を超える借入れを行いません。投資信託証券への投資は行いません。
	ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）	
	マネーパールマザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得したものに限るものとし、投資割合は信託財産の純資産総額の5%以下とします。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

# りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド 日本円コース

第101期（決算日	2020年3月10日）
第102期（決算日	2020年4月10日）
第103期（決算日	2020年5月11日）
第104期（決算日	2020年6月10日）
第105期（決算日	2020年7月10日）
第106期（決算日	2020年8月11日）

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド日本円コース」は、このたび第106期の決算を行いましたので、第101期～第106期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<https://www.sompo-am.co.jp/>

お問い合わせ先



クライアントサービス第二部 0120-69-5432  
（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の正式名称については後掲「■主要投資対象の投資信託証券の概要」をご覧ください。

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			債権組入比率	債券組入比率	投資信託比率	純資産総額
		税金	込	騰落率				
	円	円	円	中率	%	%	百万円	
77期(2018年3月12日)	7,791		40	△0.1	1.0	97.0	454	
78期(2018年4月10日)	7,719		30	△0.5	1.0	96.8	431	
79期(2018年5月10日)	7,537		30	△2.0	1.0	96.4	413	
80期(2018年6月11日)	7,449		30	△0.8	1.1	95.6	390	
81期(2018年7月10日)	7,206		30	△2.9	1.1	97.4	370	
82期(2018年8月10日)	7,292		30	1.6	0.7	96.1	365	
83期(2018年9月10日)	7,234		30	△0.4	0.5	95.9	362	
84期(2018年10月10日)	7,232		30	0.4	0.6	96.8	358	
85期(2018年11月12日)	7,135		30	△0.9	0.7	96.8	352	
86期(2018年12月10日)	7,114		30	0.1	—	96.9	350	
87期(2019年1月10日)	7,121		30	0.5	—	96.0	345	
88期(2019年2月12日)	7,209		30	1.7	—	96.4	347	
89期(2019年3月11日)	7,249		30	1.0	—	97.2	337	
90期(2019年4月10日)	7,292		30	1.0	—	97.9	324	
91期(2019年5月10日)	7,292		30	0.4	—	97.1	320	
92期(2019年6月10日)	7,241		30	△0.3	—	95.0	304	
93期(2019年7月10日)	7,244		30	0.5	—	97.1	302	
94期(2019年8月13日)	7,129		30	△1.2	—	97.4	296	
95期(2019年9月10日)	7,096		30	△0.0	—	97.0	295	
96期(2019年10月10日)	7,107		30	0.6	—	96.6	296	
97期(2019年11月11日)	7,129		30	0.7	—	97.4	294	
98期(2019年12月10日)	7,111		30	0.2	—	95.6	302	
99期(2020年1月10日)	7,176		30	1.3	—	95.3	306	
100期(2020年2月10日)	7,156		30	0.1	—	95.1	305	
101期(2020年3月10日)	6,981		30	△2.0	—	96.1	294	
102期(2020年4月10日)	6,264		30	△9.8	—	94.6	260	
103期(2020年5月11日)	6,528		30	4.7	—	94.9	270	
104期(2020年6月10日)	6,800		30	4.6	—	95.2	281	
105期(2020年7月10日)	6,832		30	0.9	—	95.4	281	
106期(2020年8月11日)	6,881		30	1.2	—	95.5	283	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり(以下同じ)。

(注3) 債券組入比率はマネーブルマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 投資信託証券組入比率は「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス1)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス1)」の組入比率。

(注5) 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス1)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス1)」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	率
第101期	(期 首) 2020年2月10日	円 7,156	% —		% —		% 95.1	
	2月末	7,168	0.2		—		96.3	
	(期 末) 2020年3月10日	7,011	△ 2.0		—		96.1	
第102期	(期 首) 2020年3月10日	6,981	—		—		96.1	
	3月末	6,204	△11.1		—		94.9	
	(期 末) 2020年4月10日	6,294	△ 9.8		—		94.6	
第103期	(期 首) 2020年4月10日	6,264	—		—		94.6	
	4月末	6,491	3.6		—		95.1	
	(期 末) 2020年5月11日	6,558	4.7		—		94.9	
第104期	(期 首) 2020年5月11日	6,528	—		—		94.9	
	5月末	6,700	2.6		—		95.0	
	(期 末) 2020年6月10日	6,830	4.6		—		95.2	
第105期	(期 首) 2020年6月10日	6,800	—		—		95.2	
	6月末	6,814	0.2		—		95.2	
	(期 末) 2020年7月10日	6,862	0.9		—		95.4	
第106期	(期 首) 2020年7月10日	6,832	—		—		95.4	
	7月末	6,884	0.8		—		95.7	
	(期 末) 2020年8月11日	6,911	1.2		—		95.5	

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

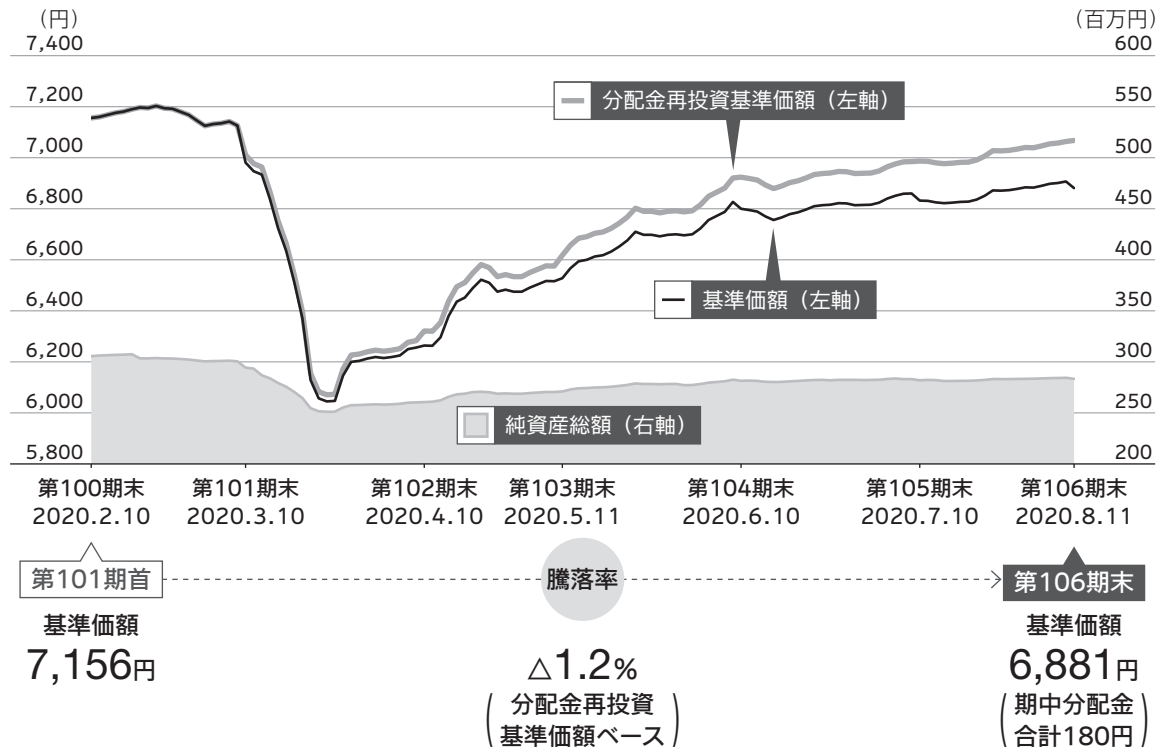
(注2) 債券組入比率はマネーブルマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注3) 投資信託証券組入比率は「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス1)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス1)」の組入比率。

(注4) 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス1)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス1)」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## 運用経過

## ● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2020年2月10日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ● 基準価額の主な変動要因

### りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド 日本円コース

主要投資対象である「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス1)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス1)」は、両ファンドを合算すると債券部分が小幅プラスに寄与した一方、為替ヘッジコストや信託報酬等がマイナスに寄与し、分配金再投資基準価額の騰落率はマイナスとなりました。

- 本報告書では、ベビーファンド、マザーファンド及びマザーファンド以外のファンドを下記の様に統一して表記しています。

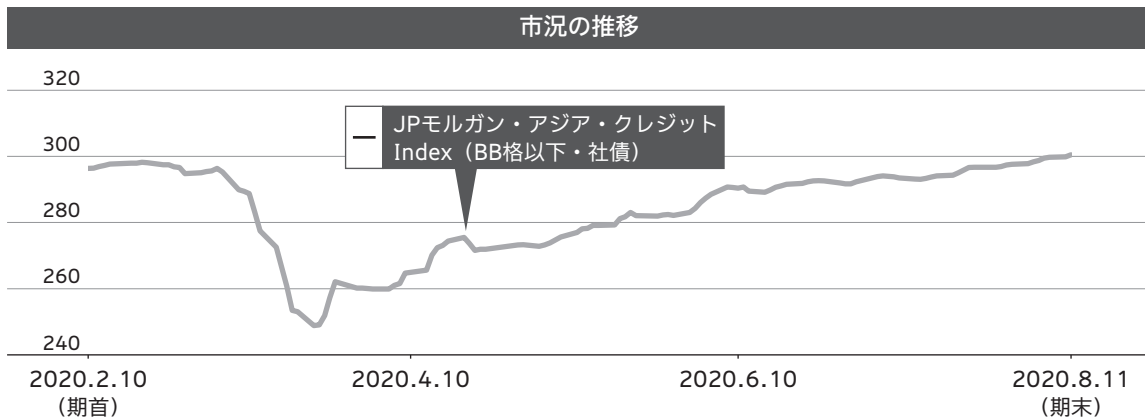
 ベビーファンド    マザーファンド    マザーファンド以外のファンド

## ● 投資環境

当期のアジア・ハイ・イールド債券市場は小幅上昇しました。

2020年3月以降、新型コロナウイルス感染問題が深刻化したことを受けて、感染抑止策等が導入された影響から景気見通しは大幅に悪化しました。リスク回避的な市場環境となったことから、米国金利は低下したものの、アジア・ハイ・イールド債券市場ではクレジットスプレッドが大幅に拡大した結果、下落しました。

4月以降は、徐々に経済活動が再開されたことや、多くの国で財政および金融の両面から政策対応が実施されたことを好感し、クレジットスプレッドが縮小したことから上昇しました。



(出所：Bloomberg)

## ● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通じて、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）」および「ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）」の投資比率を高位に維持しました。

### 日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）

アジア・ハイ・イールド債券のクレジットスプレッドが拡大した一方、クーポン収入や銘柄選択がプラスに寄与したことなどから、債券部分はプラスに寄与しました。

### ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）

クーポン収入等がプラスに寄与した一方、アジア・ハイ・イールド債券のクレジットスプレッドが拡大したことや、銘柄選択がマイナスに寄与したことなどから、債券部分は小幅マイナスに寄与しました。

### マネープールマザーファンド

コール・ローン等の短期金融資産による運用を行いました。

## ● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）」および「ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）」の投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、1万口当たり合計180円の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
	2020.2.11 } 2020.3.10	2020.3.11 } 2020.4.10	2020.4.11 } 2020.5.11	2020.5.12 } 2020.6.10	2020.6.11 } 2020.7.10	2020.7.11 } 2020.8.11
当期分配金	30	30	30	30	30	30
(対基準価額比率)	0.428%	0.477%	0.457%	0.439%	0.437%	0.434%
当期の収益	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	3,327	3,338	3,352	3,367	3,379	3,392

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

**決算期毎にインカム収入<sup>※</sup>を中心に分配を行うことを目指すファンドです。**

※ インカム収入とは、債券の利子収入、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）収入等をいいます。

- ・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。
- ・ 投資対象資産や為替の値動き等により基準価額が下落した場合でも、原則として、インカム収入相当については、分配を行います。



## ● 今後の運用方針

### りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド 日本円コース

今後も、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）」の投資比率を高位に保つことにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

### 日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）

金融・財政の両面からの強力な政策対応が実施されていることが景気回復のサポートになると考えますが、新型コロナウイルスの感染は引き続き拡大していることなどから景気回復は緩やかなペースにとどまるとみています。中長期的には景気回復に歩調を合わせて、市場環境も徐々に改善すると見込んでいます。当ファンドでは、市場動向を注視しながら引き続きクレジットの質を重視するとともに、当面先行きの不透明な市場環境が続く見込みであることを考慮し、価格変動性が高い銘柄等の組み入れを抑制するなど、慎重なポートフォリオ運営を行う方針です。

### ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）

アジア・ハイ・イールド債券市場については、世界的に緩和的な金融政策が維持されていることなどを背景に堅調に推移していますが、米国で新型コロナウイルス感染拡大や米中間の関係悪化懸念には引き続き留意が必要であると考えます。当面は慎重なポートフォリオ運営を行います。中長期的にはアジア・ハイ・イールド債券市場は底堅い推移を見込んでいます。ポートフォリオ構築においては、引き続き企業の健全性を注視しつつ、流動性に配慮しリスクを抑えたポートフォリオ構築を行う方針です。

### マネープールマザーファンド

コール・ローン等の短期金融資産による運用を行う方針です。

## ● 1万口当たりの費用明細

項目	第101期～第106期 2020.2.11～2020.8.11		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	34円	0.506%	(a) 信託報酬 = 各期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は6,710円です。
( 投信会社 )	( 14 )	( 0.209 )	ファンドの運用の対価
( 販売会社 )	( 19 )	( 0.280 )	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
( 受託会社 )	( 1 )	( 0.016 )	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.010	(b) その他費用 = $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
( 監査費用 )	( 1 )	( 0.009 )	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
( その他 )	( 0 )	( 0.001 )	信託事務の処理にかかるその他の費用等
<b>合計</b>	<b>35</b>	<b>0.516</b>	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

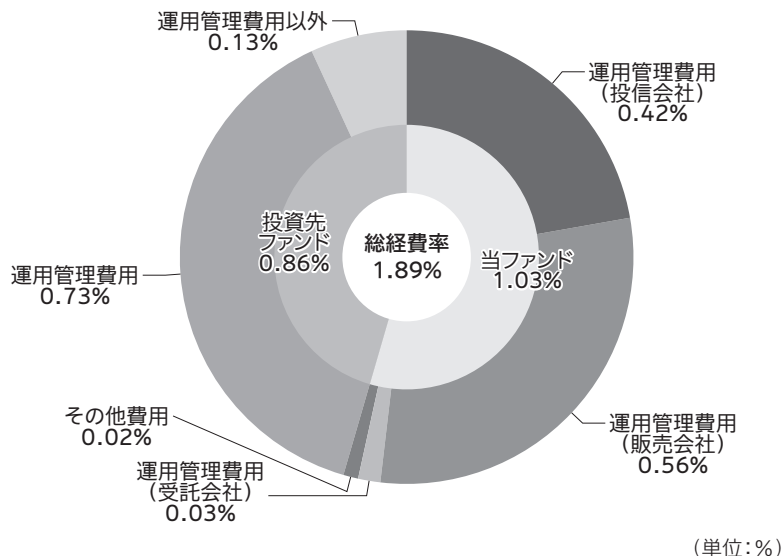
注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

注4. 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

## (参考情報)

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.89%**です。



総経費率(①+②+③)	1.89
①当ファンドの費用の比率	1.03
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.73
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.13

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

注5. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

注6. 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

注7. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## ○投資信託財産の構成

(2020年8月11日現在)

項 目	第106期末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 270,487	95.0%
マネーブルマザーファンド	3,250	1.1
コール・ローン等、その他	11,095	3.9
投資信託財産総額	284,832	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末
	2020年3月10日現在	2020年4月10日現在	2020年5月11日現在	2020年6月10日現在	2020年7月10日現在	2020年8月11日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	295,891,930	262,101,257	272,466,630	282,951,838	284,391,695	284,832,658
コール・ローン等	9,888,561	12,330,048	12,113,845	11,710,203	12,263,647	11,094,900
投資信託受益証券(評価額)	282,751,306	246,519,471	257,101,371	267,990,546	268,877,283	270,487,317
マネーブルマザーファンド(評価額)	3,252,063	3,251,738	3,251,414	3,251,089	3,250,765	3,250,441
(B) 負債	1,513,072	1,512,239	1,513,017	1,510,660	2,453,198	1,490,926
未払収益分配金	1,265,039	1,248,040	1,245,194	1,241,576	1,238,049	1,235,378
未払解約金	—	31,000	32,420	33,840	976,107	—
未払信託報酬	243,435	228,123	230,411	230,753	234,513	250,847
未払利息	29	—	34	30	26	22
その他未払費用	4,569	5,076	4,958	4,461	4,503	4,679
(C) 純資産総額(A-B)	294,378,858	260,589,018	270,953,613	281,441,178	281,938,497	283,341,732
元本	421,679,696	416,013,370	415,064,946	413,858,711	412,683,032	411,792,857
次期繰越損益金	△127,300,838	△155,424,352	△144,111,333	△132,417,533	△130,744,535	△128,451,125
(D) 受益権総口数	421,679,696口	416,013,370口	415,064,946口	413,858,711口	412,683,032口	411,792,857口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,981円	6,264円	6,528円	6,800円	6,832円	6,881円

(注1) 当作成期間(第101期~106期)における期首元本額427,083,519円、期中追加設定元本額6,584,237円、期中一部解約元本額21,874,899円

(注2) 期末における1口当たりの純資産総額

第101期0.6981円、第102期0.6264円、第103期0.6528円、第104期0.6800円、第105期0.6832円、第106期0.6881円

(注3) 期末における元本の欠損金額

第101期127,300,838円、第102期155,424,352円、第103期144,111,333円、第104期132,417,533円、第105期130,744,535円、第106期128,451,125円

## ○損益の状況

項 目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
	2020年2月11日～ 2020年3月10日	2020年3月11日～ 2020年4月10日	2020年4月11日～ 2020年5月11日	2020年5月12日～ 2020年6月10日	2020年6月11日～ 2020年7月10日	2020年7月11日～ 2020年8月11日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	1,936,403	1,890,511	1,890,074	1,889,674	1,884,250	1,889,973
受取配当金	1,937,037	1,890,652	1,890,652	1,890,454	1,884,987	1,890,652
支払利息	△ 634	△ 141	△ 578	△ 780	△ 737	△ 679
(B) 有価証券売買損益	△ 7,798,622	△ 30,199,092	10,545,656	10,858,916	883,805	1,609,308
売買益	—	32,611	10,581,900	10,889,175	886,733	1,610,662
売買損	△ 7,798,622	△ 30,231,703	△ 36,244	△ 30,259	△ 2,928	△ 1,354
(C) 信託報酬等	△ 248,004	△ 233,170	△ 235,144	△ 235,184	△ 238,888	△ 255,526
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 6,110,223	△ 28,541,751	12,200,586	12,513,406	2,529,167	3,243,755
(E) 前期繰越損益金	△ 86,901,698	△ 92,337,453	△ 121,653,768	△ 110,212,708	△ 98,365,291	△ 96,715,792
(F) 追加信託差損益金	△ 33,023,878	△ 33,297,108	△ 33,412,957	△ 33,476,655	△ 33,670,362	△ 33,743,710
(配当等相当額)	( 94,886,803)	( 93,927,439)	( 93,784,163)	( 93,577,517)	( 93,445,747)	( 93,313,407)
(売買損益相当額)	(△127,910,681)	(△127,224,547)	(△127,197,120)	(△127,054,172)	(△127,116,109)	(△127,057,117)
(G) 計(D+E+F)	△126,035,799	△154,176,312	△142,866,139	△131,175,957	△129,506,486	△127,215,747
(H) 収益分配金	△ 1,265,039	△ 1,248,040	△ 1,245,194	△ 1,241,576	△ 1,238,049	△ 1,235,378
次期繰越損益金(G+H)	△127,300,838	△155,424,352	△144,111,333	△132,417,533	△130,744,535	△128,451,125
追加信託差損益金	△ 33,023,878	△ 33,297,108	△ 33,412,957	△ 33,476,655	△ 33,670,362	△ 33,743,710
(配当等相当額)	( 94,886,803)	( 93,927,439)	( 93,784,163)	( 93,577,517)	( 93,445,747)	( 93,313,407)
(売買損益相当額)	(△127,910,681)	(△127,224,547)	(△127,197,120)	(△127,054,172)	(△127,116,109)	(△127,057,117)
分配準備積立金	45,443,738	44,944,867	45,383,040	45,801,353	46,025,234	46,376,186
繰越損益金	△139,720,698	△167,072,111	△156,081,416	△144,742,231	△143,099,407	△141,083,601

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程(2020年2月11日～2020年8月11日)は以下の通りです

項 目	2020年2月11日～ 2020年3月10日	2020年3月11日～ 2020年4月10日	2020年4月11日～ 2020年5月11日	2020年5月12日～ 2020年6月10日	2020年6月11日～ 2020年7月10日	2020年7月11日～ 2020年8月11日
a. 配当等収益(費用控除後)	1,688,199円	1,657,293円	1,854,161円	1,854,586円	1,721,426円	1,751,767円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	94,886,803円	93,927,439円	93,784,163円	93,577,517円	93,445,747円	93,313,407円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	45,020,578円	44,535,614円	44,774,073円	45,188,343円	45,541,857円	45,859,797円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	141,595,580円	140,120,346円	140,412,397円	140,620,446円	140,709,030円	140,924,971円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	3,357円	3,368円	3,382円	3,397円	3,409円	3,422円
g. 分配金	1,265,039円	1,248,040円	1,245,194円	1,241,576円	1,238,049円	1,235,378円
h. 分配金(1万口当たり)	30円	30円	30円	30円	30円	30円

## ○分配金のお知らせ

	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
1万円当たり分配金（税込み）	30円	30円	30円	30円	30円	30円

### <分配金をお支払いする場合>

・分配金は、原則として各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しています。

### <分配金を再投資する場合>

・お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資しています。

### <課税上の取扱いについて>

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本と同額の場合または個別元本を上回っている場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、収益分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人の受益者に対する課税  
 税率は普通分配金について、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%）です。

※上記は源泉徴収時の税率であり、税率は課税方法等により異なる場合があります。

※少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※法人の受益者に対する課税は、税率が異なります。

※上記内容は、税法が改正された場合等には変更になることがあります。

※課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家または税務署等にご確認ください。

## ○お知らせ

- ・2020年4月1日の委託者の名称等変更に伴い、委託者名および電子公告の掲載アドレスが変更となるため、信託約款に所要の変更を行いました（2020年4月1日）。

<参考情報>組入れ投資信託証券の内容

■主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	<p>■日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド          (Nikko AM Asia Limited Investment Series-Nikko AM アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド クラス1)</p>
形態	ケイマン籍外国投資信託 (円建て)
運用の基本方針	<p>①主として、アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等に投資します。          ②原則として米ドル等を日本円で為替ヘッジを行います。</p>
主な投資制限	<p>①有価証券の空売りは行いません。          ②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。          ③投資信託証券への投資は行いません。</p>
決算日	毎年12月31日
信託報酬等	<p>純資産総額に対して年率0.77%          ※年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。          ※上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等（監査費用、弁護士費用等）、管理報酬、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。</p>
申込・解約手数料	ありません。
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の名称及びその運用会社の名称等は今後変更となる場合があります。



## ■ 包括利益計算書

(2019年1月1日から2019年12月31日まで)  
アメリカドル

### 収益

純損益を通じて公正価値で測定される金融資産・負債に係る純利益／損失 (△)	19,050,480
為替差損益	20,626
その他収益	-
<b>収益合計</b>	<b>19,071,106</b>

### 費用

支払利息	△ 14,978
投資運用報酬	△ 1,183,264
投資運用報酬 払戻料	67,295
管理報酬	△ 69,155
監査報酬	△ 44,316
保管報酬	△ 47,033
受託者報酬	△ 15,705
その他営業費用	△ 62,000
<b>営業費用合計</b>	<b>△ 1,369,156</b>

税引前・分配前利益 (損失)	17,701,950
税金	-
税引後・分配前利益 (損失)	17,701,950
分配金	△ 25,888,696
税引後・分配後利益 (損失)	△ 8,186,746
営業活動による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少	△ 8,186,746

主要投資対象のひとつである投資信託証券「Nikko AM Asia Limited Investment Series Nikko AM アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の財務諸表を委託会社にて翻訳したものです。

## ■ 組入上位銘柄

(2019年12月31日現在)

銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	純資産構成比
ZHENRO PROPERTIES GRP 10.5% 28/06/20 USD	中国	10.500%	2020/06/28	3.7%
POWERLONG REAL ESTAT 5.95% 19/07/20 USD	中国	5.950%	2020/07/19	3.4%
JINKE PROPERTIES GRP 8.375% 20/06/21 USD	中国	8.375%	2021/06/20	2.8%
XINHU ZHONGBAO 6% 01/03/20 USD	中国	6.000%	2020/03/01	2.8%
RONSHINE CHINA 11.25% 22/08/21 USD	中国	11.250%	2021/08/22	2.6%
YANGO JUSTICE INTL 9.5% 03/04/21 USD	中国	9.500%	2021/04/03	2.5%
POWERLONG REAL ESTATE 6.95% 17/04/21 USD	中国	6.950%	2021/04/17	2.4%
SMC GBL POWER HLDGS 6.5% VAR PERP USD	フィリピン	6.500%	永久債	2.3%
ZHONGLIANG HLDGS 11.5% 26/09/21 USD	中国	11.500%	2021/09/26	2.3%
REDCO PROPERTIES GRP 13.5% 21/01/20 USD	中国	13.500%	2020/01/21	2.2%

「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社である日興アセットマネジメント アジア リミテッドが作成したデータを、委託会社にて翻訳したものです。

## ■主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	<p>■ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド  (Lion Global Asian High Yield Bond Fund-Lion Global Investors アジ  ア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド クラス1)</p>
形態	ケイマン籍外国投資信託（円建て）
運用の基本方針	<p>①主として、アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等に投資します。  ②原則として米ドル等を日本円で為替ヘッジを行います。</p>
主な投資制限	<p>①有価証券の空売りは行いません。  ②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。  ③投資信託証券への投資は行いません。</p>
決算日	毎年12月31日
信託報酬等	<p>純資産総額に対して年率0.77%  ※年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。  ※上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等（監査費用、弁護士費用等）、管理報酬、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。</p>
申込・解約手数料	ありません。
投資顧問会社	ライオングローバルインベスターズ

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の名称及びその運用会社の名称等は今後変更となる場合があります。

## ■ 包括利益計算書

(2019年1月1日から2019年12月31日まで)  
アメリカドル

### 収益

純損益を通じて公正価値で測定される金融資産・負債に係る純利益/損失 (△)	5,176,535
為替差損	△ 20,022
受取利息	78,194
その他収益	4,300
<b>収益合計</b>	<b>5,239,007</b>

### 費用

投資運用報酬	300,500
管理報酬	18,334
監査報酬	32,924
保管報酬	9,021
名義書換費用	3,839
受託者報酬	12,058
その他営業費用	13,489
<b>営業費用合計</b>	<b>390,165</b>

営業利益 4,848,842

分配金 △7,956,816

税引前・分配後損失 △3,107,974

税金 -

税引後・分配後損失 △3,107,974

営業活動による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少 △3,107,974

主要投資対象のひとつである投資信託証券「Lion Global Asian High Yield Bond Fund-Lion Global Investors アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の財務諸表を委託会社にて翻訳したものです。

## ■ 組入上位銘柄

(2019年12月31日現在)

銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	純資産構成比
POWERLONG REAL ESTATE 5.95% DUE 19/07/2020	中国	5.950%	2020/7/19	5.0%
CFLD CAYMAN INVESTMENT 6.5% DUE 21/12/2020	中国	6.500%	2020/12/21	4.7%
NETWORK I2I LTD 5.65% DUE 31/12/2199	インド	5.650%	永久債	4.2%
VEDANTA RESOURCES LTD 6.37% DUE 30/07/2022	インド	6.370%	2022/7/30	4.0%
PB INTERNATIONAL BV 7.62% DUE 26/01/2022	インドネシア	7.620%	2022/1/26	3.4%
YUZHOU PROPERTIES CO LTD 8.5% DUE 04/02/2023	中国	8.500%	2023/2/4	2.7%
MEDCO PLATINUM ROAD PTE 6.75% DUE 30/01/2025	インドネシア	6.750%	2025/1/30	2.6%
INDORAMA VENTURES GLO SV 4.37% DUE 12/09/2024	タイ	4.370%	2024/9/12	2.5%
CIFI HOLDINGS GROUP 5.37% DUE 31/12/2199	中国	5.370%	永久債	2.4%
FORTUNE STAR BVI LTD 6.75% DUE 02/07/2023	中国	6.750%	2023/7/2	2.1%

「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社であるライオングローバルインベスターズが作成したデータを、委託会社にて翻訳したものです。

# マネープールマザーファンド

## 運用報告書

第9期（決算日 2020年8月11日）

<計算期間 2019年8月14日～2020年8月11日>

マネープールマザーファンドの第9期の運用状況をご報告申し上げます。

### ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債等
主な組入制限	株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得した株券に限り、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
5期(2016年8月10日)	円		%	%	百万円
6期(2017年8月10日)	10,027		0.0	84.1	1,549
7期(2018年8月10日)	10,030		0.0	85.2	1,412
8期(2019年8月13日)	10,032		0.0	75.1	1,339
9期(2019年8月13日)	10,028		△0.0	—	248
9期(2020年8月11日)	10,019		△0.1	—	182

(注1) 基準価額は1万口当たり（以下同じ）。

(注2) 当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		債 組	入 比	券 率
				騰 落	率			
	(期 首)		円		%			%
	2019年	8月13日	10,028		—			—
	8月末		10,028		0.0			—
	9月末		10,027		△0.0			—
	10月末		10,026		△0.0			—
	11月末		10,026		△0.0			—
	12月末		10,025		△0.0			—
	2020年	1月末	10,024		△0.0			—
	2月末		10,024		△0.0			—
	3月末		10,023		△0.0			—
	4月末		10,022		△0.1			—
	5月末		10,021		△0.1			—
	6月末		10,020		△0.1			—
	7月末		10,020		△0.1			—
	(期 末)							
	2020年	8月11日	10,019		△0.1			—

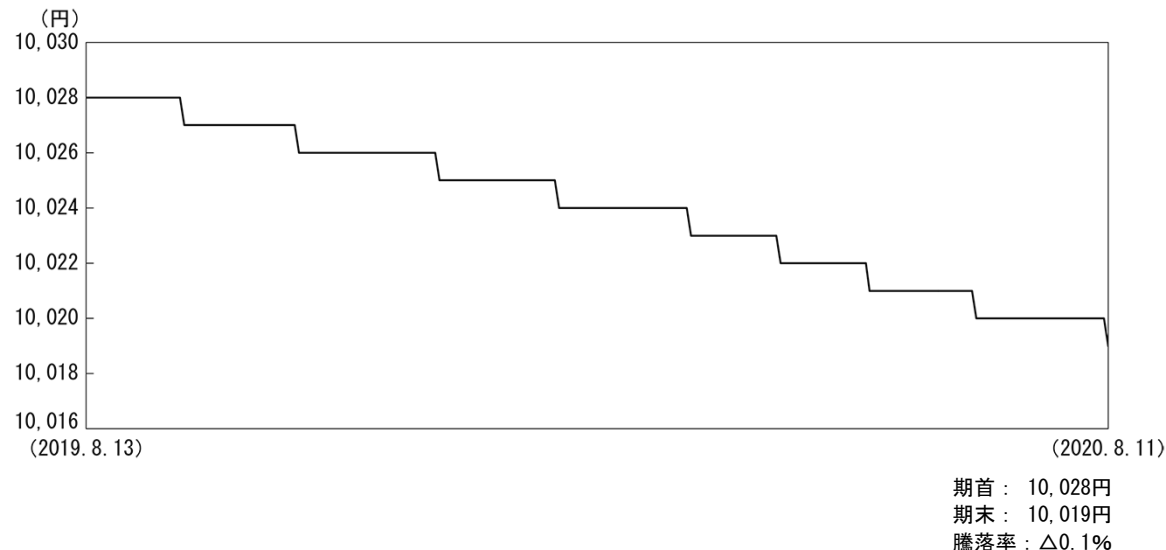
(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

## ○運用経過

(2019年8月14日～2020年8月11日)

## ■基準価額の推移



## ■基準価額の主な変動要因

短期金融資産の利回りがマイナス圏で推移したことから、当期末の基準価額は期首の水準を小幅に下回りました。

## ■投資環境

日銀によるマイナス金利政策のもと、短期金融資産の利回りは期を通じてマイナス圏内で推移しました。

## ■当該投資信託のポートフォリオ

コール・ローン等の短期金融資産による運用を行いました。

## ■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ■今後の運用方針

コール・ローン等の短期金融資産による運用を行う方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2019年8月14日～2020年8月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	円 1 (1)	% 0.014 (0.014)	(a)その他費用= $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	1	0.014	
期中の平均基準価額は10,023円です。			

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ○売買及び取引の状況

(2019年8月14日～2020年8月11日)

該当事項はございません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年8月14日～2020年8月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2020年8月11日現在)

2020年8月11日現在、有価証券等の組入れはございません。

## ○投資信託財産の構成

(2020年8月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 182,365	% 100.0
投資信託財産総額	182,365	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年8月11日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	182,365,662
コール・ローン等	182,365,662
(B) 負債	369
未払利息	369
(C) 純資産総額(A-B)	182,365,293
元本	182,010,733
次期繰越損益金	354,560
(D) 受益権総口数	182,010,733口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,019円

(注1) 信託財産に係る期首元本額247,715,866円、期中追加設定元本額3,551,988円、期中一部解約元本額69,257,121円

(注2) 期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託ごとの元本の内訳

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンドアジア通貨コース	81,000,688円
りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド高金利通貨コース	25,598,908円
りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンドブラジルリアルコース	45,266,118円
りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド日本円コース	3,244,277円
アジア・ハイイールド債券ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなしコース	4,053,277円
アジア・ハイ・イールド債券ファンド(毎月分配型)円ヘッジコース	8,277,821円
日米4資産スマートバランス	8,222,410円
りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド米ドルコース	1,859,448円
日米4資産スマートバランス(DC年金)	4,487,786円

(注3) 期末における1口当たりの純資産総額 1.0019円

## ○損益の状況 (2019年8月14日~2020年8月11日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△160,939
受取利息	54
支払利息	△160,993
(B) 保管費用等	△30,655
(C) 当期損益金(A+B)	△191,594
(D) 前期繰越損益金	701,021
(E) 追加信託差損益金	8,012
(F) 解約差損益金	△162,879
(G) 計(C+D+E+F)	354,560
次期繰越損益金(G)	354,560

(注1) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注2) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

・2020年4月1日の委託者の名称等変更に伴い、委託者名および電子公告の掲載アドレスが変更となるため、信託約款に所要の変更を行いました(2020年4月1日)。